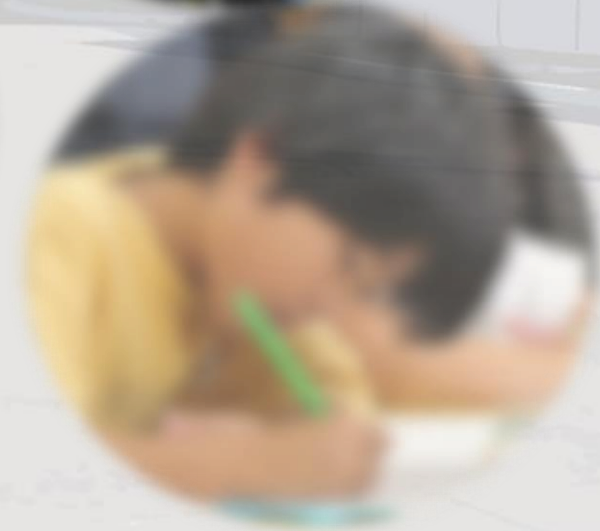
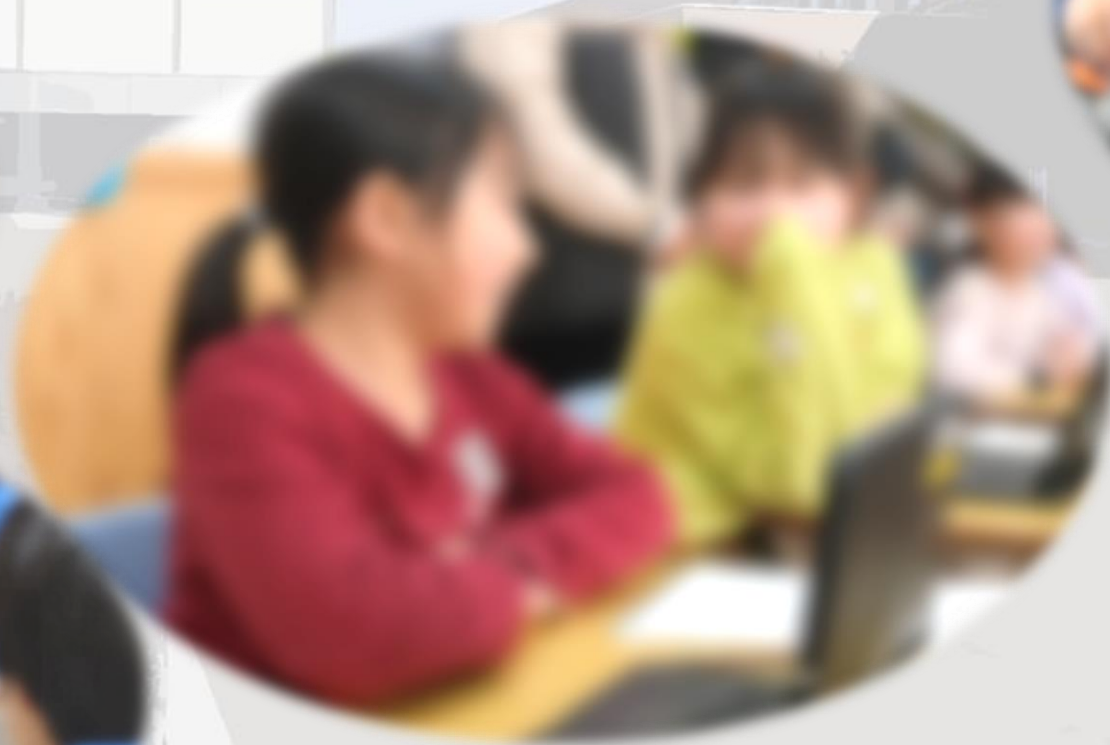


# 子供たちの学びを支える小中一貫教育 ～紫波東学園の取組から考えたこと～



令和7年4月23日（水）  
学校教育課 濱田成樹



佐比内小学校



星山小学校


5つの小学校が  
1つになって



紫波東小学校



彦部小学校



紫波東学園

施設一体型  
小中一貫校  
紫波東学園



長岡小学校



赤沢小学校

小学校と  
中学校が1つに  
なって



紫波第二中学校

# 紫波町における小中一貫教育

既存の小・中学校の基本的な枠組みは残したまま、9年間の教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する**小中一貫教育**を推進。

## 《小中一貫教育》

小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

※学校の種類として、「義務教育学校」「小中一貫型小学校・中学校」の2つがあるが、紫波町では現行の小学校6年間、中学校3年間の枠組みを保持したままの「小中一貫型小学校・中学校」を採用

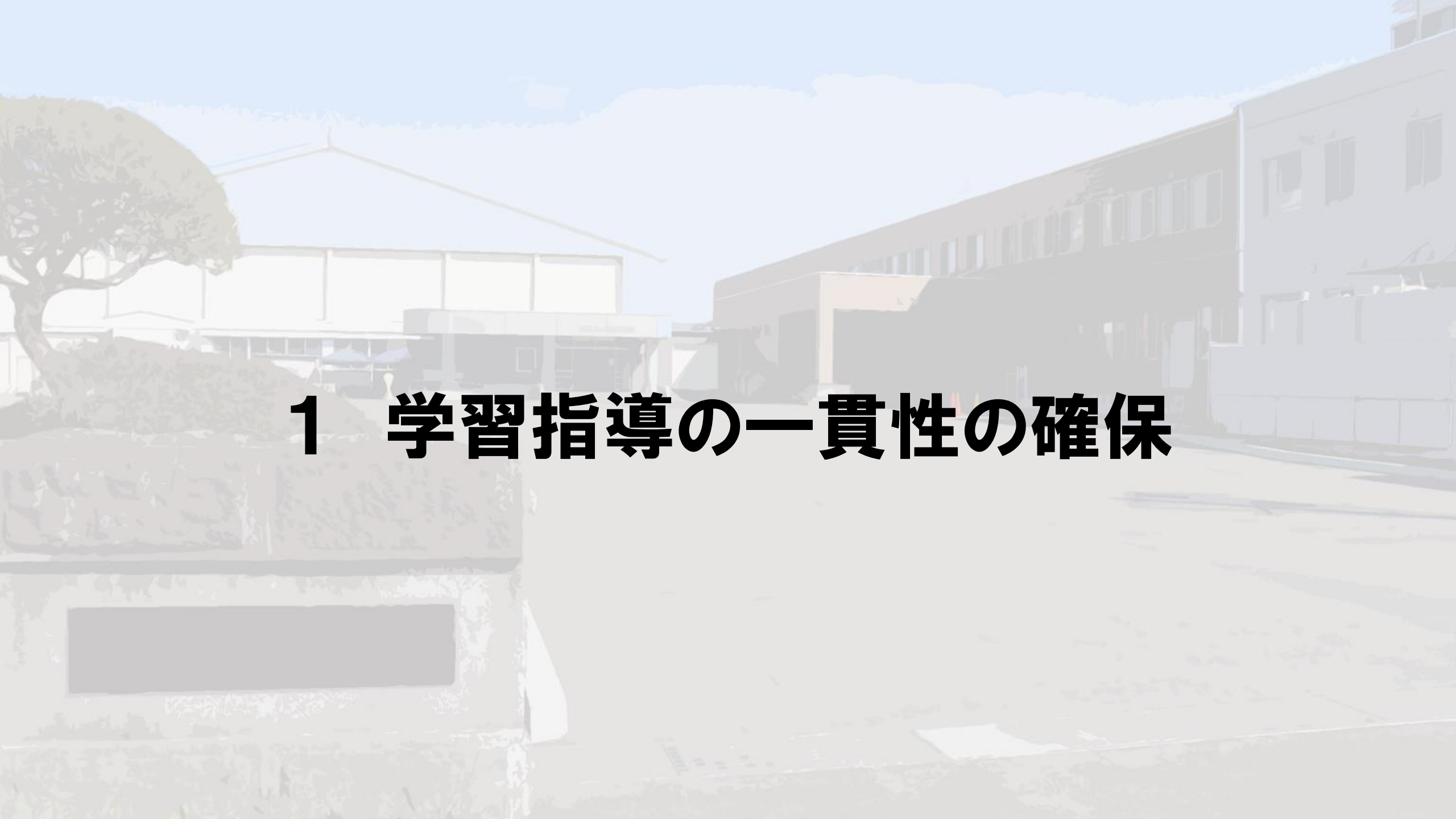


# 令和4年 小中一貫校 紫波東学園開校

小中一貫校としての教育活動がスタート



【紫波東学園開校式】



# 1 学習指導の一貫性の確保

# 1 学習指導の一貫性の確保

## 学習面での小中共同課題

- 授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む
- 自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして文章を書く
- 論理の展開に注意して聞き、自分の考えをまとめる
- 既習事項の性質を利用して、理由を説明する(算数・数学)
- 与えられた情報から必要な情報を選択し、理由を説明する

内容による  
個人差

進度による  
時間差

⇒一人一人の学習状況に応じた授業への改善

# 1 学習指導の一貫性の確保

9年間を通じた  
系統的な教育へ

## 授業づくりの5つの視点

### 「子供たちを主語とした授業」

- ①子供は友達や先生との対話、学習経験を基に、主体的に学習課題を見出すことができる
- ②子供は自己調整をしながら、主体的に課題解決に取り組むことができる
- ③子供は友達との学びから、自分の考えを広めたり、深めたりすることができる
- ④子供は情報活用能力を発揮し、教科の学びを深めることができる
- ⑤子供は課題解決の過程や学習の成果を自覚することができる

中学校 1年 理科

# 自走するための学びのスタート

計画や解決方法を見直している生徒

中学校3年

今、現時点でできる**最善**を探して実行する

# 1 学習指導の一貫性の確保

【小中合同の研修会】

子供一人一人  
が主体となる  
には？

年間15回すべて  
**小中合同の研究会**を実施



子供の学習状況や興味  
関心に基づいた内容へ



子供が主体となる時  
の教師の役割は？

# 1 学習指導の一貫性の確保

【学校公開研究会】

令和6年度 研究主題

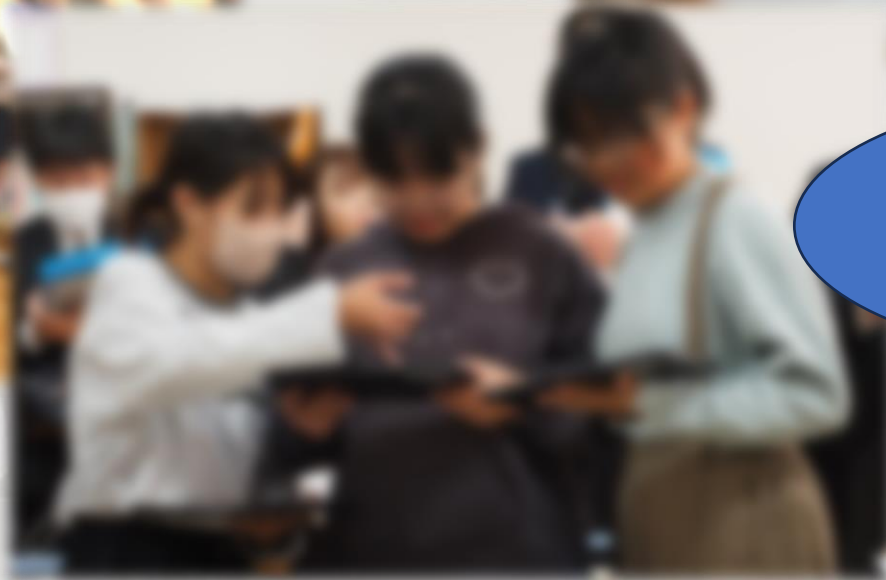
主体的に学ぶ児童生徒の育成  
～子供を主語とした授業づくりを通して～



友達と学びを  
深め、広げる



情報活用能力を  
発揮し、学びを  
深める



# 1 学習指導の一貫性の確保

【小中合同の研究会を通して】



研究会を通じた学び

小学校教員の系統性を踏まえた指導  
一人一人の丁寧な見取り

中学校教員の専門性  
奥深い教材研究

学校教育目標や研究目標を踏まえ  
た学びの一貫性の確保



教師の授業力向上

よりよい教育の提供へ

# 1 学習指導の一貫性の確保

## 【紫波東学園の取組】

授業づくりの視点を、小中教員が共有して授業づくりに取り組む

9年間という長期間の見通しをもった系統的な計画(総合的な学習、情報活用能力)

小中合同の研修会・校内研究会の実施

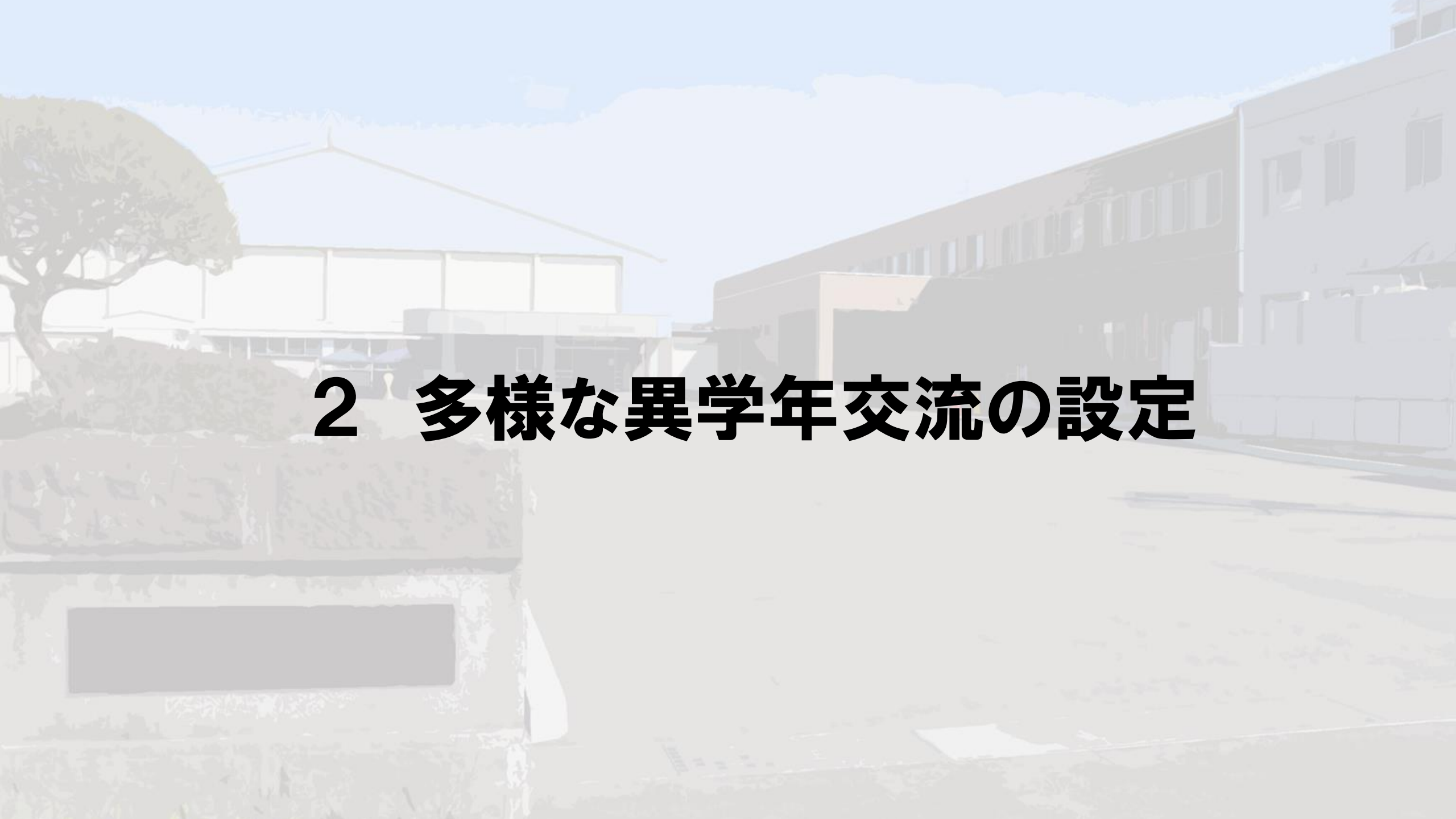
「確かな学力育成プラン」を基に学力向上に向けての取組を協議

⇒小中教員の共通理解

⇒継続している課題の解決へ

⇒長期間での学びや成長の見取り

子供一人一人の  
学習状況に応じた  
学びへ



## **2 多様な異学年交流の設定**

## 2 多様な異学年交流の設定

### 子供たちの声

- 授業中は静かに移動してほしい(中学生)
- ルールを守って行動してほしい(小学生)
- たてわり班の時に、言ったことをしっかり聞いてほしい(中学生)
- 共通の取組がもっとできるとよい(中学生)
- 生徒会執行部があいさつの手本となるようにしたい(生徒会)

**⇒小中学生が一体となって解決を図る必要がある**

**⇒小中学生がお互いを理解する必要があること**

## 2 多様な異学年交流の設定

【紫波東学園歌】

子供たち同士で教え合う  
場面を設定

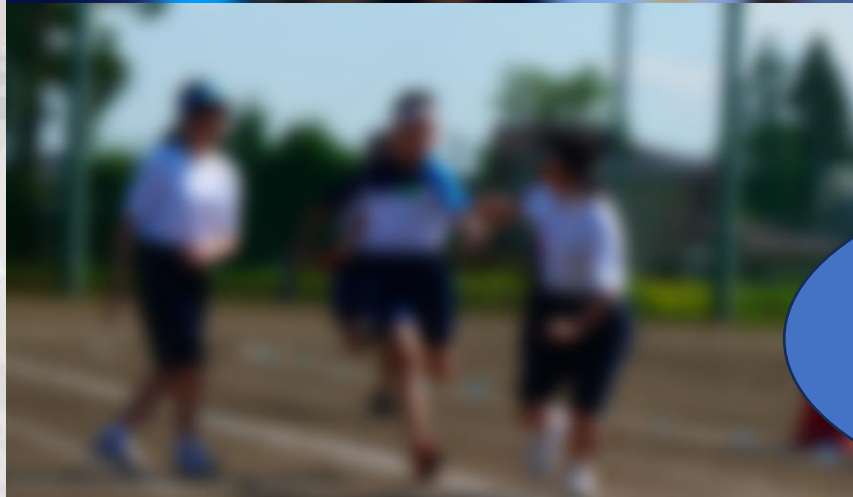
小学校高学年から低学年へ

中学生から小学校高学年へ

中学生が小学生の  
目標に

## 2 多様な異学年交流の設定

【スポーツフェスタin紫波東(小中合同の運動会)】



小学生と中学生が  
共に一つの目標に  
向かう体験

# 全員リレー 高まる一体感

紫波東学園・初の  
スポーツフェスタ



声援を背に全力疾走する生徒

**紫波** 紫波東小と紫波二中の小中一貫校・紫波東学園（内川千亜希校長、児童152人、生徒102人）は16日、紫波町犬吠森の同学園校庭でスポーツフェスタを初開催した。小学4～6年生79人と中学校の全校生徒が参加。青空の下、赤組と白組に分かれて全員リレーに臨んだ。白熱のレースを繰り広げ、小学1～3年生も応援に駆け付けた。

児童会長の阿部恒輝君（6年）は「中学生が大きな声で指示していて頼もしかった。来年は小学生を引っ張りたい」と決意。生徒会長の伊藤このはさん（3年）は「この学校でしかできないことができてうれしい」と充実感に浸った。

開園2年目で、教員側が小中学校全体で取り組める行事を実現しようと企画した。

## 2 多様な異学年交流の設定

【募金活動(児童会と生徒会の連携)】



リーダー性や責任感  
の向上

【読み聞かせ(中学生から小低学年へ)】



小学生と中学生のつ  
ながりが生まれる

## 2 多様な異学年交流の設定

### ■今年その他の主な小中合同の教育活動■

- 秋期奉仕作業(小6～中2)の実施
- 全校運動(遊び)の時間の実施
- 縦割り合唱練習の実施
- メディアバランスデーの実施
- 合同避難訓練の実施
- 縦割り班清掃
- 小中合同委員会活動

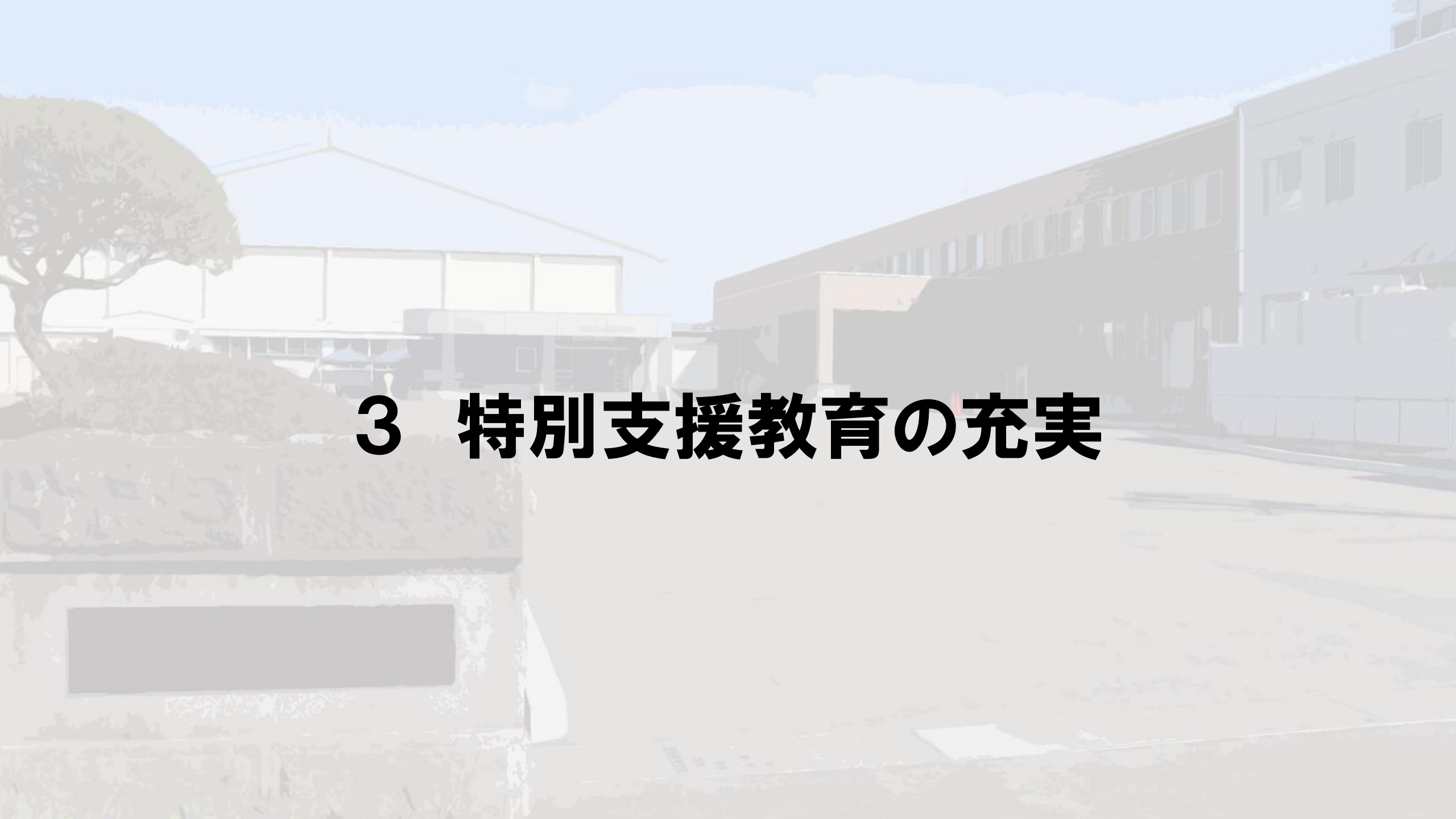


⇒校種を超えたつながり

⇒自他を尊重し、思いやりをもつ心

⇒社会性の向上

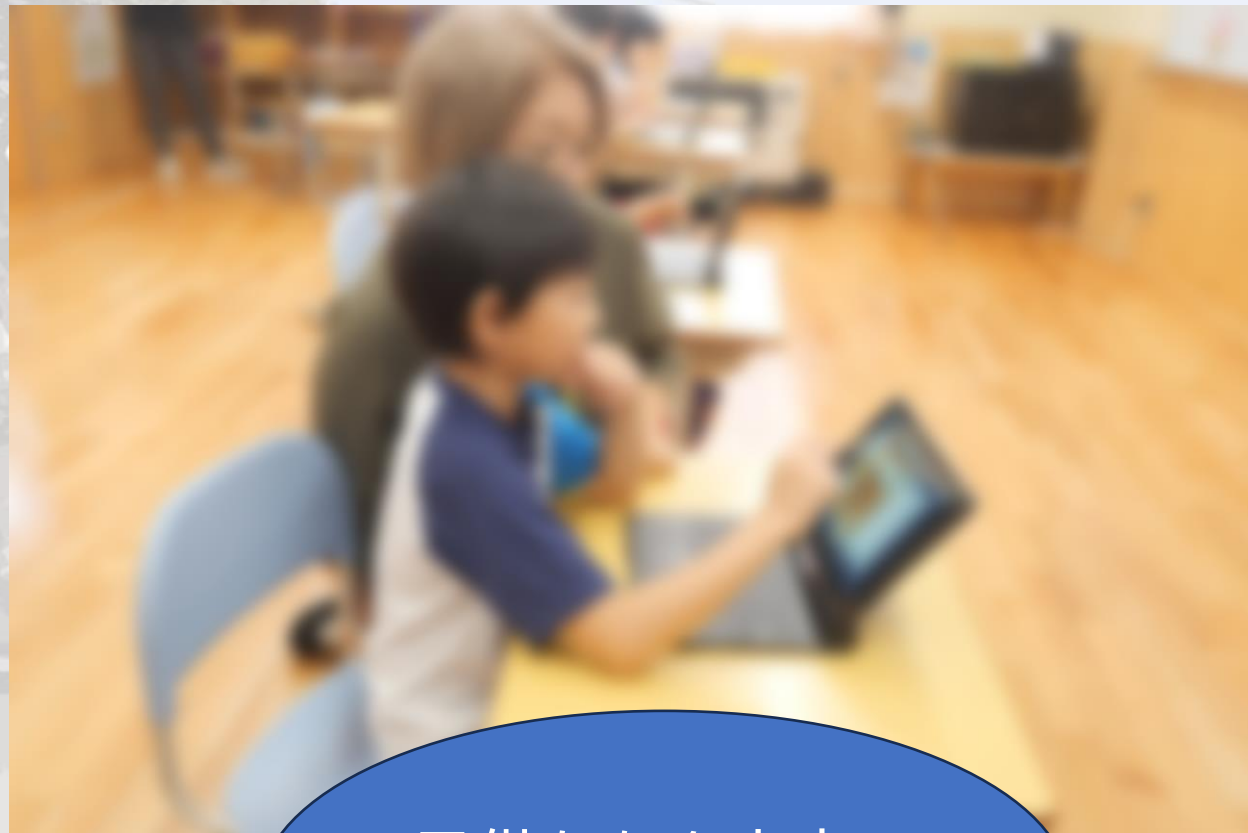
小中が協力して  
創り上げる学校へ



# 3 特別支援教育の充実

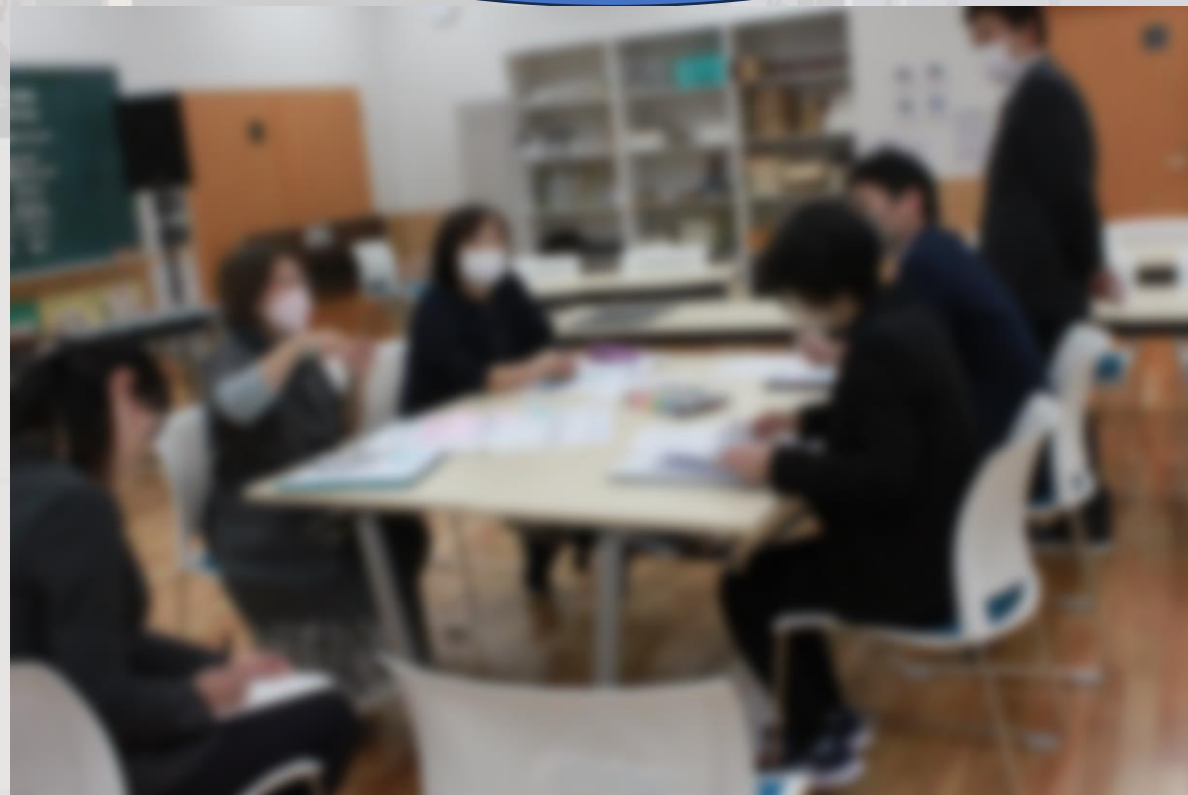
# 3 特別支援教育の充実

【小中が連携して子供を支援】



子供たちを小中の  
教員で支える

児童生徒の様子や支援  
内容を共通理解



# 3 特別支援教育の充実

## 【紫波東学園の取組】

就学支援委員会等の校内委員会を小中合同で実施

中学校の特別支援教育コーディネーターを核としたチーム連携の推進

校種を超え、小中の教員で児童生徒の支援を行う

小学校から中学校への進学時の円滑な接続

⇒支援体制の確かな引継ぎ

⇒進学時の不安軽減

⇒子供を十分に把握した長期的な支援

子供たちの実態や  
ニーズに応じた  
安心して学べる環境



# 4 指導組織・指導方法の工夫

# 4 指導組織・指導方法の工夫

【中学校教員による乗り入れ授業】



中学校教員による  
専門的な指導

中学進学前からの  
中学校教員と小学生の  
関係づくり



# 4 指導組織・指導方法の工夫

## 【紫波東学園の取組】

中学校教員の小学校への乗り入れ授業(英語、音楽)

小から中、中から小への教員の積極的な関わり

小学校高学年での専科教員の導入(算数、理科)

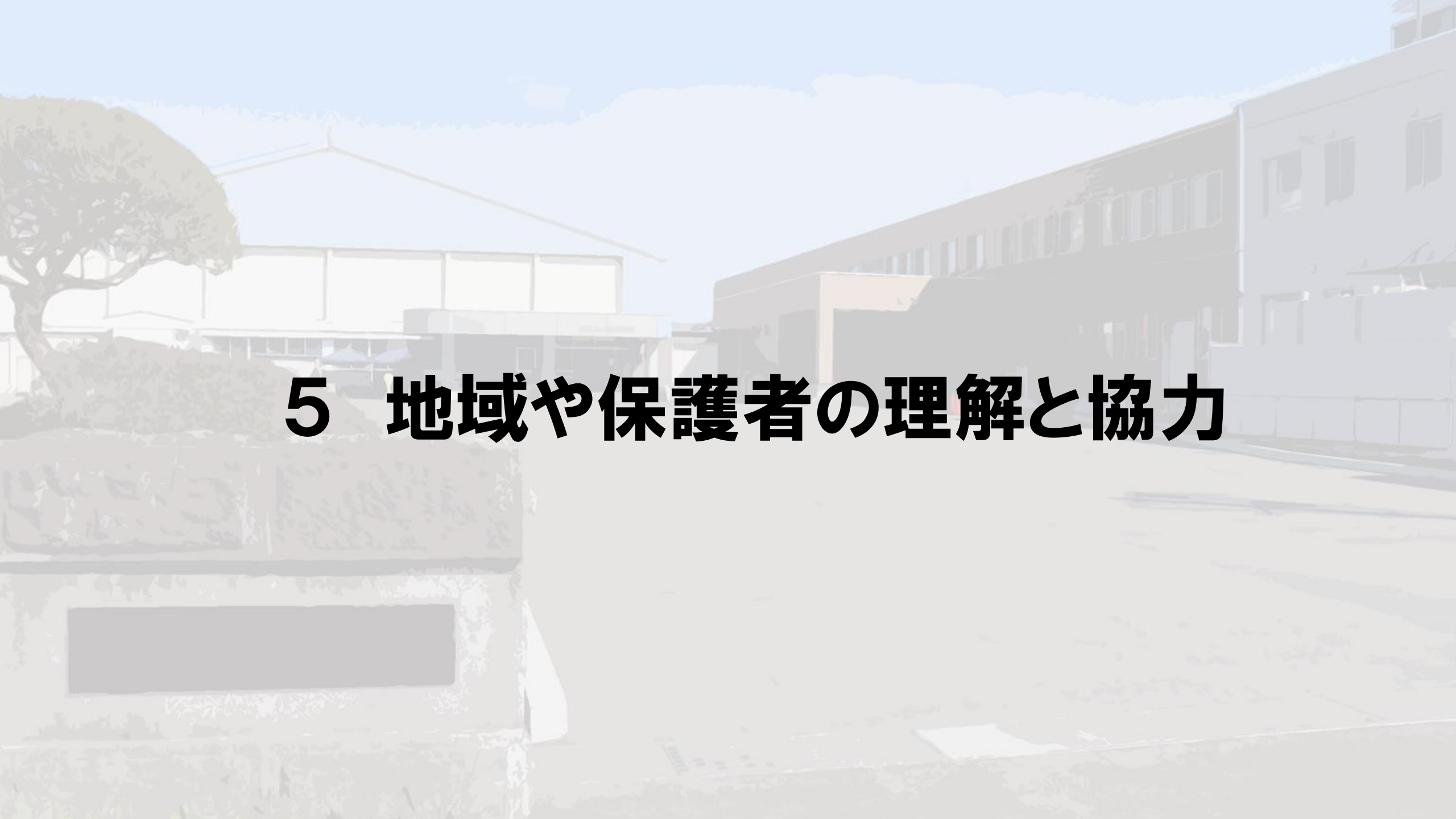
小中をつなぐ教員の役割(主幹教諭、特別支援コーディネーター等)

⇒指導組織・体制の改善

⇒多様な視点からの支援

⇒課題の早期発見と適切な対応

小中教職員  
みんなで育てる意  
識の高まり



# 5 地域や保護者の理解と協力

# 5 地域や保護者の理解と協力

【学校運営協議会(熟議の様子)】



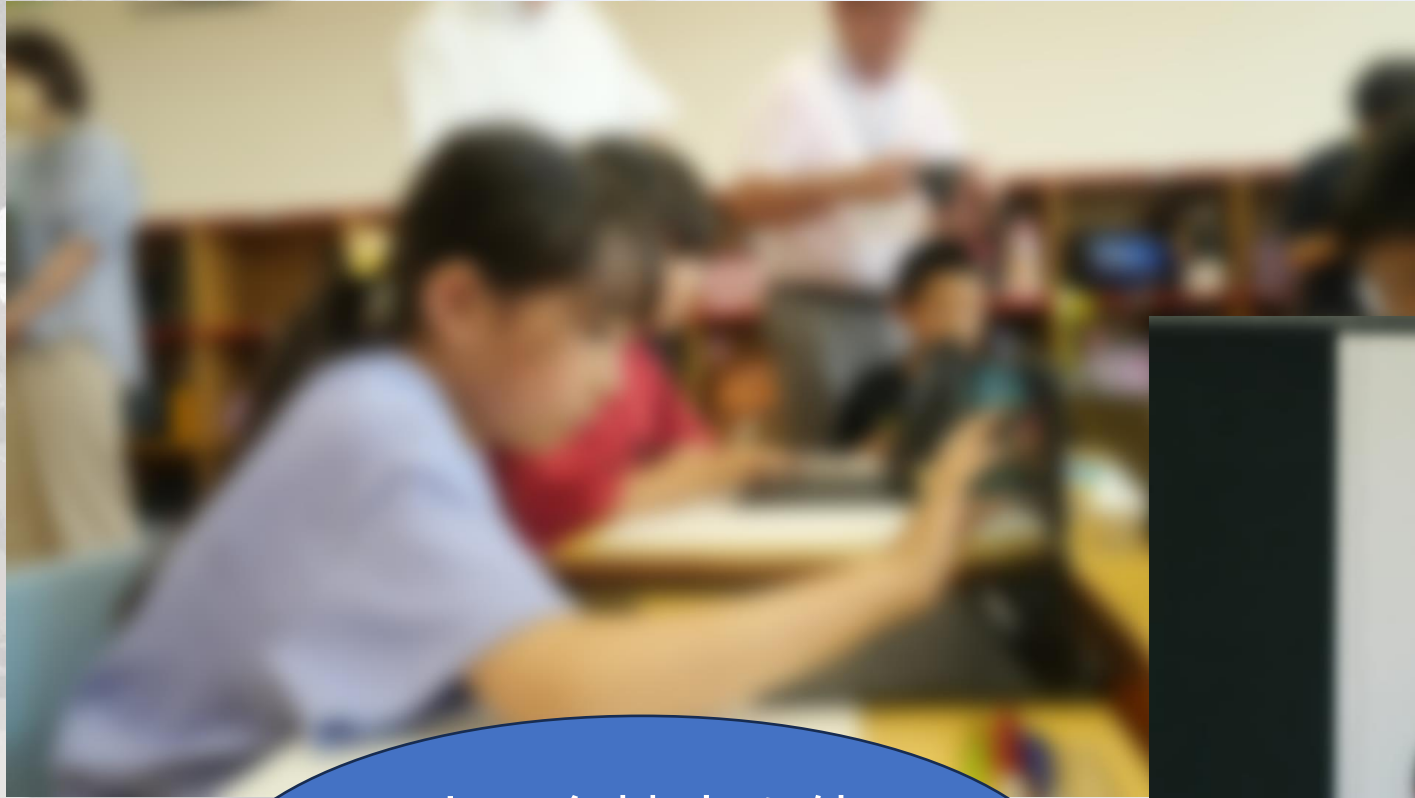
9年間という長期的な見通しで子供たちの成長を考える

子供たちを育てるために思いを語る



# 5 地域や保護者の理解と協力

【小学校3年生総合的な学習】



一人一台端末を使い  
地域についての学び  
をまとめる

地域の魅力を自分  
たちの視点で発信



# 5 地域や保護者の理解と協力

【社会参加活動の発表(中学生)】



自分たちの学びや  
思いを地域に返す

地域の魅力を  
引き継ぐ



# 5 地域や保護者の理解と協力

【学校運営協議会】

中学校卒業時に目指す姿を協議 ～授業参観を通して～

総合的な学習における地域の積極的な関わり ～カリキュラムの改善～

地域の特色を生かした教育活動の実施 ～地域人材の活用～

学校の安心・安全を守る取組 ～地域が一体となって～

⇒学校・地域・家庭の連携強化

⇒地域の魅力を再発見

⇒地域と学校課題を共有・解決

地域と共に  
9年間を見据えた  
教育環境づくり

# 6 主な諸課題

- 小中の教職員間での打合せ時間や研修時間の確保
- 「なぜやるのか」教育活動の改善も必要
- 児童生徒間の人間関係の固定化
- 9年間の系統性に配慮した指導計画の作成
- 小中合同の行事等における発達段階に応じた内容設定
- 年間行事予定や日々の時間割の調整や共有化